

2015年2月16日

当別町教育長 本庄 幸賢 様

生活クラブ生活協同組合北海道 北斗支部  
サークル「暮らしのなかに図書館を」  
代表 岡田 美知子

## 町立図書館に関する要望

平素は教育行政のご尽力に敬意を表します。

現在、私たちは、図書館に関心を寄せる町民が集まり、昨春よりサークルを立ち上げ学習活動を始めました。一昨年の宮司町長就任後、図書館設置へ向けた動きが報じられ、大変期待が膨らんでいます。当別町には公立図書館・公民館が無く文化的な環境に恵まれていないことを残念に思っております。

今年度、教育長より「当別町図書館像検討委員会」へ、図書館設置に向けた諮問がなされたと報道で知り、私たちは図書館づくりが本格化することを切に願っています。

この機会に私たちの声（下記の要望事項）をお届けし、2015年度（平成27年度）の施策に反映させていただきますよう要望いたします。

### 記

- ① 2015年度は「町立図書館基本計画策定委員会」を発足させ、設置へ向けた検討を加速・進展させてください。発足時には、図書館の専門知識をもち、図書館を開館し運営してきた豊富な経験のある館長予定者を採用することを希望します。
- ② 上記委員会には図書館の設置を望む町民が参加できるように、委員の公募制を採用し計画段階から町民参加による「利用者のための図書館」を目指し、官民協働の町づくりを推進・実践してください。
- ③ 幼児から高齢者にとって、生涯を通じ学びの場としてまた地域の情報センターとして、知の活動拠点、町民の出会い・交流の拠点となることを期待します。そして、町民だれもが気軽に利用できる施設にするために訓練された専門職員＝司書のいる町立図書館の早期実現を切に望みます。
- ④ 地域の歴史的資料や近現代の町政資料を整備・保存・公開する役割こそ、町立図書館に課せられた後世への最大の責務です。基本計画には重要項目として盛り込むように希望します。
- ⑤ 学校図書館法が改正され、学校図書館にも専任の学校司書を配置するように求めています。現在、策定作業中の『当別町子どもの読書活動推進計画』においても、町立図書館と学校図書館の連携が欠かせないと考えます。学校図書館が十分に機能するためには、学校司書の活動を支援・協力する町立図書館が不可欠です。